

女子社員現場視察アンケート

所属 総務部

第1回視察 平成28年11月17日

第2回視察 平成28年11月24日

1. 現場の第1印象

6万Vと高電圧のものを、6600Vに変電し、更に、各地域へ電気を送っている装置が、こんなに身近な場所にあったことに驚いた。

2. 作業状況を見て思ったこと

- 11/17 1回目視察：電線を切る作業では、切る前に、前処理を行っており、大変だなと思った。
溶接作業では、溶接する人は、必ず資格を持っていないといけないことを初めて知った。
溶接する時は、向きや角度に注意し、高い技術力と、安全知識が必要で、すごいと思った。
- 11/24 2回目視察：元々4つあった遮断器が撤去されており、新しく2つのガス遮断器が設置されていた。
沢山のケーブルを遮断器の中に入れ、ケーブルを伸ばし、固い保護被覆を切り取って、
それぞれのケーブルを決まった場所に接続する所や、脚立の上で、安全帯をつけて作業をしている
現場の方の姿をみて、命に関わる立派な仕事をされていると思った！

3. 事務所で想像していたことと、実際に現場を視察して思ったこと

事務所の中は、快適な環境で、仕事を行っているが、屋外での作業は、天候に関わらず、工程通りに作業を実施しないと行かず、中には緊急作業もあり、大変だなと思った。特に、11/24は、防寒ジャンパーを着ていても寒かったが、現場で作業されている方は、寒さを感じさせないくらい、手際良く、仕事をこなしており、尊敬しました。

4. 今回、現場視察して

当たり前のように使っている電気が、送電線より、一般家庭へ、どのように送られているのか、初めて知りました。

作業服、ヘルメット着用も初めての経験で、危険な場所があることも知りました。
建屋の中には、沢山のケーブル設備や、装置があり、しっかりと管理されており、驚きの連続でした。とても勉強になりました。

以上